



平成会  
和田 喜治  
議員

## 成東中学校の廃校問題について

**問** 私は統廃合の問題を全面的に反対

しているわけではありませんが、1学年20名を下回ってしまうと予想される学校は、統廃合を考えなければなりません。しかし成東中学校は10年先を見据えても現状維持の状況が続くと予想されます。市長が率先して成東駅北側開発、その他の方法で人口増加に取り組めば1学年3学級は簡単なものではないかと考えています。市長は、そんなに廃校にしたければ、成東地区・大富地区の方々が目を覚まさないうちに決断するチャンスです。市長の考えを伺います。

**答** 市長 平成35年度の統合を目指して、

検討を進めていきたいと

考えています。

**問** 統廃合の問題で意見を言えるのは

教育長、教育委員の方々です。何も意見を言わないで、市長の言いなりになつていたのでは、本当に情けないことです。教育委員会では廃校などの考えはなく、建て直すという事で進めていたようですが、市長の強い指導力、それも2日間という短い議論で廃校が決められてしまいました。そこで市長・教育長に伺います。市長はこのまま、この構想を貫いていく方針ですか。そして教育長は、決定するその場で、何か意見を言いましたか。

**答**

市長 十分に議論を進めていく中で、理解いただいていく必要があるかと思っています。

**答**

教育長 建設に当たっては多額の費用を伴いますので、市長部局と協議した結果、現在ある施設を有効活用していくということになりました。

**問**

多額の費用がかかるということですが、ここにきて松尾小学校の建て直し問題が浮上してきました。21億円かけての建て直しというのですが、古さでは成東中学校が一番古い建物です。その建物をいとも簡単に廃校。そして4キロメートル先にある学校に通えという、市長の判断に私の胸の内は限界にきております。この問題は成東地区・大富地区の方々による住民投票で賛否

を問うのが良かろうかと思いますが、この方法では廃校反対ということは間違いありません。そこで、良い方法がありますので、紹介します。それは、地域の方々がそろつている市役所職員全員に賛否を問う投票をお願いすることです。実施してはどうですか。

**答**

市長 提案は大変ありがたいと思います。が、なかなか難しいとお答えさせていただきます。

## オリンピック・パラリンピック、陸上競技場の件について

**問**

これまでは陸上競技場改修工事として議論してきましたが、陸上競技場では補正予算が通らないと見て、インフイルド内の芝生張替えと議論がすりかえられてしまいました。それも子どもたちのサッカーのためということになり、争点がすりかえられてしまいました。これまで競技場改修工事に反対していた方々が、子どもたちと

でも、少しは努力した姿を見せてください。成東中学校廃校問題でも、このような努力をする考えがありますか。

**答**

市長 子どもたちのためという言葉、急に出したつもりはありません。青少年の交流事業に取り組むことによつて、子どもたちにも大きな影響を与えていけるだろうと判断しています。

**問**

成東中学校廃校問題に対する努力をするという答弁はありませんでした。市の中心地にある成東中学校を廃校にしてまで、この運動公園にかける椎名市長、私の掲げる成東中学校廃校問題とどちらが大事か、市民に訴えます。

**答**

(答弁なし)

統廃合が検討されている成東中学校



いうことで、ことごとく賛成に回り補正予算は可決される見込みです。子どもたちという言葉を使えば市民はだませるということ、してはならない戦法です。このように頭のぎれる方々が、成東中学校廃校問題